

各位

2025年 12月 26日

会社名 株式会社ROBOT PAYMENT
 代表者名 代表取締役執行役員CEO 清久 健也
 (コード番号: 4374 東証グロース)
 問い合わせ 取締役執行役員 久野 聡太
 (TEL 03-5469-5780)

「投資家が評価しているグロース上場企業の取組み事例集」

への掲載に関するお知らせ

株式会社ROBOT PAYMENT（本社：東京都渋谷区、代表取締役執行役員CEO：清久 健也、証券コード：4374、以下「当社」）は、2025年10月10日に開示いたしました「飛躍的な未来成長を目指す長期経営戦略（事業計画及び成長可能性に関する事項）」の資料の一部が、東京証券取引所より2025年12月26日に公表されました「投資家が評価しているグロース上場企業の取組み事例集」に掲載されましたので、お知らせいたします。当社は今後も、投資家の皆様からのご期待に応えるべく、透明性の高い情報開示及び継続的なコミュニケーションの強化に努めてまいります。

詳細につきましては、以下リンクよりご参照ください。

<https://www.jpx.co.jp/news/1020/20251226-02.html>

出展：東京証券取引所「投資家が評価しているグロース上場企業の取組み事例集」（2025年12月26日）より

事例5
ROBOT PAYMENT (1/3)
4374
情報・通信業 JPX

投資家の声

過去の開示と市場反応を丁寧に分析し、課題を踏まえて成長戦略・開示内容をアップデート。個人投資家との直接コミュニケーションの場も積極的に設けている。このような投資家との対話を重視した取組みが、投資家の企業理解促進や信頼獲得に繋がっている。

01. 過去の開示と株価

2度上方修正を行うも株価は3,000円をピークに下落する

03. 長期経営戦略 戦略の概要

売上高成長率の低い「つまらない会社」を脱却するために明確な「成長投資の実行基準」を設定する

なぜ売上高成長率が低下したのか？

成長投資の実行基準が浸透せず、増大な取り組みへの投資ができなかった

新規事業：新規事業の立ち上げを行ったものの、十分な効果を発揮できず立ち上げが滞った

既存事業：既存事業への追加投資が不足し、人件費・広告費・開発費への十分な投資を実施できず成長が停滞した

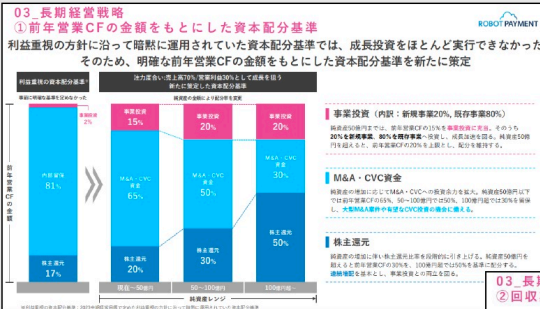
M&A：高単価の顧客に注力する戦略を推進したが、資金集中が顕著に表れていたため、M&Aを実施できなかった

CVC：新規事業の成長に貢献できなかったため、CVC投資を実施できなかった

現在までの開示内容と株価の状況について詳細に振り返りを行い、投資家目線を踏まえて課題を把握したうえで、成長戦略をアップデート
(投資家の期待 # 1)

出所：株式会社ROBOT PAYMENT 飛躍的な未来成長を目指す長期経営戦略（事業計画及び成長可能性に関する事項）（2025年10月10日）
<https://www2.jpx.co.jp/disc/437401/4012025100571170.pdf>
 © 2025 Japan Exchange Group, Inc., and/or its affiliates

26



資本配分の基準を示し、特に純資産が低位の段階では、M&AやCVCなどの成長投資に優先的に配分していく方針を明示。あわせて、成長投資の判断にあたっての基準も明確化 (投資家の期待 # 1 & # 3)

03_長期経営戦略
② 回収期間を明確にした投資判断基準

明確な基準に沿って投資判断を行う

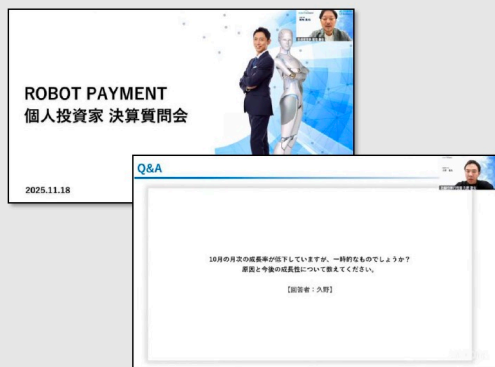
	投資判断基準
新規事業	前年営業CFが黒字化する年数: 5年以内 累計営業CFがプラス転換する年数: 10年以内
既存事業	前年営業CFが黒字化する年数: 5年以内 累計営業CFがプラス転換する年数: 5年以内
M&A	累計営業CFがのれんを上回る年数: のれん償却年数以内 (基本5年) のれん: 純資産の40%未満
CVC	含み益が投資金額を上回る年数: 5年以内 投資対象: 当社事業とのシナジー効果があるもの

※本表はシナジー効果やその他の要因による影響を考慮し、あくまで目安として示しています。個別企業ごとに判断基準を定める場合があります。

出所: 株式会社ROBOT PAYMENT 飛躍的な未来成長を目指す長期経営戦略 (事業計画及び成長可能性に関する事項) (2025年10月10日) <https://www2.jpx.co.jp/disc/43740/140120251009571170.pdf>

© 2025 Japan Exchange Group, Inc., and/or its affiliates

27



個人投資家からの質問に回答する会を定期的に開催し、その際の質疑応答の要約を後日ウェブサイトで公表。そのほか、LINE公式アカウントでIR担当者への質問を直接受け付けるなど、投資家との接点を広げ、企業理解を促すことに注力 (投資家の期待 # 6)

2025年12月期第3四半期 個人投資家決算質問会 質疑応答の要約

株式会社ROBOT PAYMENT (本社: 東京都渋谷区、代表取締役執行役員CEO: 清久 健也、証券コード: 4374、以下 当社) は、2025年11月12日 (水) に開示した2025年12月期第3四半期決算に関連して、2025年11月18日 (火) に個人投資家決算質問会を行いました。その際に投資家の皆様からいただきましたご質問について、回答をまとめましたのでお知らせいたします。
なお、決算質問会のアーカイブ動画については以下よりご覧ください。
(<https://youtu.be/Qbqr7Kqel4>)

【Q1】 貴社にとって、M&Aの成功とはどのように定義されるのか。相手企業の株式を何パーセント取得することが成功と考えているのか。

【A1】 (執行役員COO 藤田) 当社では、株式を何パーセント取得すればM&Aが成功といえるのかという定義は設けておりません。判断基準としておりますのは、長期経営戦略で掲げている「5年間でのれん償却以上のキャッシュフローを回収できること」であり、まずはこの基準をクリアしていることが前提となります。
そのうえで、回収の仕方はいくつかのパターンがあると考えております。5年間で均等に回収するケースよりも、後半に向けて伸びる形で回収できる方が、継続的に利益を生み出す状態がつくれ、成功度合いは高いと判断できます。一方で、後半伸び率はリスクも高くなるという考え方でございます。ただし、いずれの場合も「5年間」という期間が一つの基準となる点は変わりません。
この基準を継続的にクリアしていくことで、当社の投資余力はさらに確保され、追加的なM&Aや、より規模の大きなM&Aにも取り組めると考えております。したがって、株式の取得割合で成功を判断しているわけではなく、「償却期間内で回収できること」、そして「償却後に継続的な利益を創出できる状態をつくること」を成功の基準としております。

出所: (左上・左下) ログミーFinance公式チャンネル 【2025年12月期 第3四半期決算 質問回答会】 ROBOT PAYMENT (4374) IR Live <https://www.youtube.com/watch?v=4J5i1n1mMks>
(右) 株式会社ROBOT PAYMENT 2025年12月期第3四半期 個人投資家決算質問会 質疑応答の要約 <https://www2.jpx.co.jp/disc/43740/140120251125508436.pdf>

© 2025 Japan Exchange Group, Inc., and/or its affiliates

28

以上

<会社概要>

社名 : 株式会社ROBOT PAYMENT (東証グロース: 4374)
所在地 : 東京都渋谷区神宮前6-19-20 第15荒井ビル4F
設立 : 2000年10月
代表 : 代表取締役執行役員CEO 清久 健也
企業サイト : <https://www.robotpayment.co.jp/>
サービス一覧 : <https://www.robotpayment.co.jp/service/>

▼メールマガジン・LINE公式アカウントで各種情報を配信しています

メールマガジン

・すべての適時開示・PR情報をリアルタイムにお知らせ

- ・登録はこちら：<https://www.magicalir.net/4374/mail/>

LINE公式アカウント

- ・主要ニュースリリース（解説コメント付き）、イベント案内・セミナー出演のお知らせ等
- ・IR担当者とチャットで質問・お問い合わせのやりとり
- ・登録はこちら：<https://lin.ee/keiczv9>

【本リリースに関するお問い合わせ先】

株式会社ROBOT PAYMENT

担当者名：IR室 菊地

メール：ir@robotpayment.co.jp